

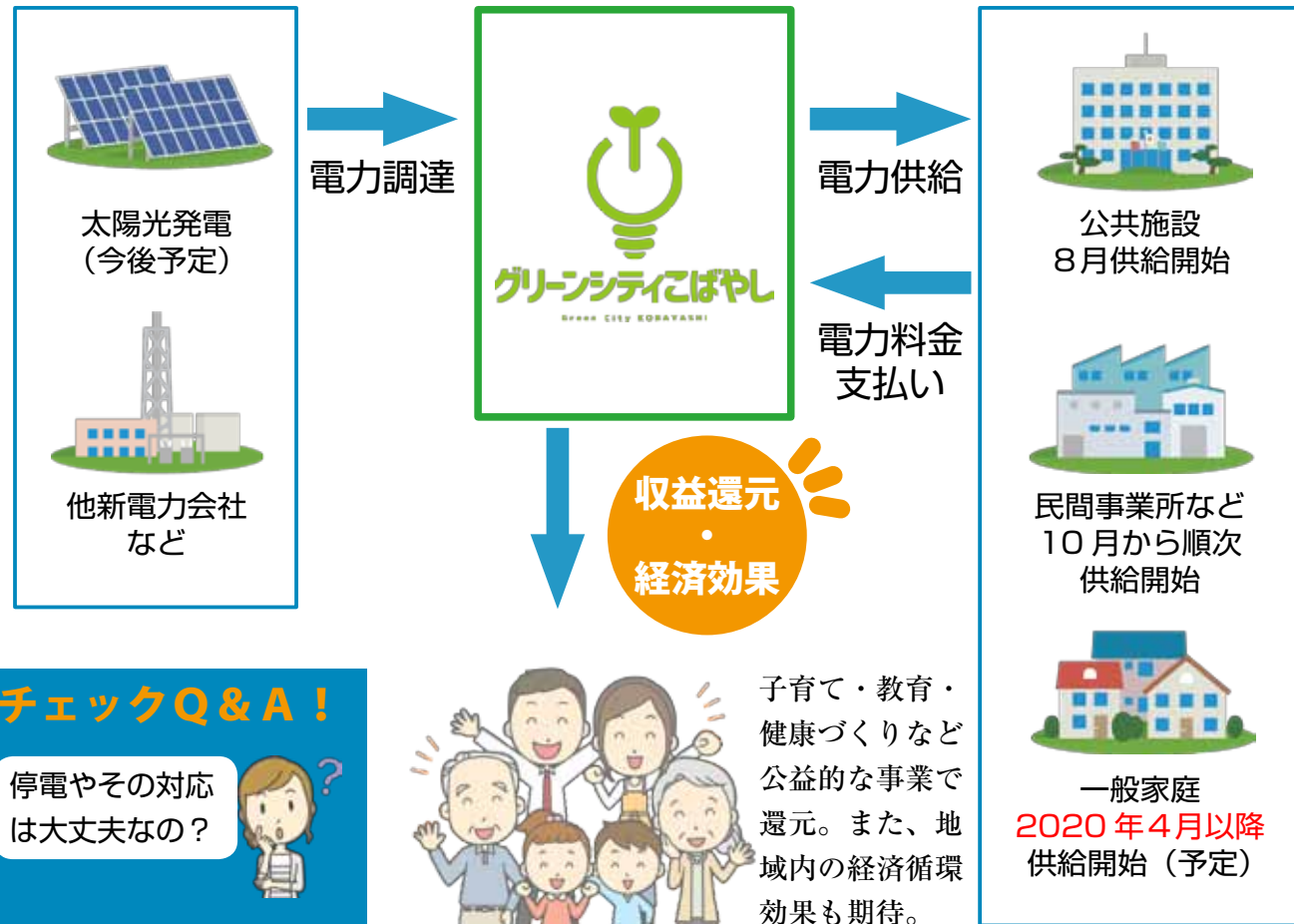
特集 自治体新電力が 始まりました！



自治体新電力会社「グリーンシティこばやし(株)」(愛称:こばでん)が、8月から小林市の公共施設への電力供給を開始しました。市役所の本庁舎や須木・野尻の各庁舎、市内の全小中学校、保育園、地区体育館など、94施設で「こばでん」の電力に切り替わっています。

●問・地方創生課 TEL 23 - 1148

グリーンシティこばやし(株) 事業イメージ



チェックQ&A!

停電やその対応
は大丈夫なの?



電力会社を変更しても、停電が起こりやすくなることはありません。仮に台風等の災害で地域一帯が停電になった場合は、今までどおり九州電力が復旧対応します。ホームページに契約や停電時などの「Q&A」が掲載しています。そちらもご覧ください。



【問合せ】
グリーンシティこばやし(株)
TEL 0984 - 27 - 3515

インタビュー

こばでんの取り組みと 今後の展開

8月から市の公共施設への電力供給を始めることができました。これを皮切りに、年内にかけて事業所・民間施設、来年度以降は一般家庭の皆様への供給を予定しています。

得られた収益は、「子育て・教育支援」「健康づくり」事業などに活用する予定です。皆さまに私たちの電気を購入いただくことで、市内にお金が循環し、「魅力ある小林市の実現」につながることを目指します。今後は、電気の供給だけでなく、太陽光発電などの電力の買取も実施していく

普段の生活が まちづくりを支える

自治体新電力会社は、通常の会社と異なり、売電事業で得られた収益を株主に配当するのではなく、市民の生活の利便性の向上に役立つ公益的な事業に使うことにしています。

市は、今年8月から94の公共施設を「こばでん」の電力に切り替えました。

これにより、新たな雇用の創出や地域内での経済循環につながるだけでなく、毎月支払っている電気料金の一部が地元還元され、安心して暮らしやすいまちづくりのために使われます。利用者の普段の生活の一部が「協働のまちづくり」に参画することにつながります。

「こばでん」には「小林のために何かしたい」という市民の思いをかたちにする企業として、発展していくことが期待されています。

グリーンシティこばやし(株)
代表取締役
前田 喜輝さん



方針です。実施する際は、ホームページなどでお知らせしてまいります。私たちの提案する電気事業に、みなさまの「共感」をいただき、一人ひとりの「協働」への参加(電気事業利用者)によって、持続的な「共感・協働・共生のまちづくり」を目指します。